

小樽商科大学 卒業論文 (昭和38年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和38	1909	国際貿易と経済発展	
昭和38	1910	要約: G.M.Meier『国際貿易と経済発展』	
昭和38	1911	ジャン・ティンバーゲン『世界経済の形成』	
昭和38	1912	東南アジアの民族主義	
昭和38	1913	J.E.Meade, The Balance Payments 要約	
昭和38	1914	トリフィン案をめぐる国際通貨論	
昭和38	1915	A.P.Lerner "Economics of Employment" 1951 -雇用の経済-	
昭和38	1916	現代資本主義における企業者の概念と職能	
昭和38	1917	アジア低開発地域の離陸 -ロストウ"離陸"の要約-	
昭和38	1918	国際経済学に於けるミルダール理論(低開発国開発理論を中心に)	
昭和38	1919	東南アジアのナショナリズムと経済発展	
昭和38	1920	低開発国の経済発展 -P.T.Bauer & B.S.Yamey を中心として-	
昭和38	1921	アジア経済の現状と発展	
昭和38	1922	経済統合理論とラテン・アメリカ	
昭和38	1923	世界貿易と我国の輸出構造	
昭和38	1924	ヘクシャー・オリーン定理をめぐる諸問題 -比較生産費理論の動態化について-	
昭和38	1925	『智明寮に於ける小集団の構造に関する実証的研究』	
昭和38	1926	従業員のモラルとパーソナリティについて	
昭和38	1927	独創性の開発	
昭和38	1928	「勤労意欲」と「余暇活動」についての一考察 (小樽商大生と三馬ゴムK.K. 奥沢工場女子工員を対象として)	
昭和38	1929	現代マス・コミュニケーションの問題点 -特に新聞産業を中心として-	
昭和38	1930	イギリス金融資本に関する一考察 -金融資本の発展過程と現代的構造-	
昭和38	1931	近代的金融政策としての国債管理の意義	
昭和38	1932	わが国における信用金庫の機能	
昭和38	1933	I.M.F.改革論の展望とその問題点	
昭和38	1934	「我国投資信託の研究」-その歴史的発展過程と金融経済的機能について	
昭和38	1935	我国とイギリスに於ける商業銀行の構造的相違について	
昭和38	1936	イギリスに於ける管理通貨制度の成立前史 -1920年代の展開-	
昭和38	1937	日英マネー・マーケットの比較研究	
昭和38	1938	管理通貨制度の一考察	
昭和38	1939	相互銀行の研究	
昭和38	1940	我国経済に於ける証券市場問題の再検討	
昭和38	1941	金利および流動性理論に関する覚書	
昭和38	1942	ラドクリフドクリントンとバンキングスクール	
昭和38	1943	経済変動におけるマネタリー・ファクターについて	
昭和38	1944	我国の物価変動要因	
昭和38	1945	小樽社会主義運動史 -戦前-	
昭和38	1946	ベルジャーエフ -人格と自由に対する考察-	
昭和38	1947	教会と国家 -ナチスとドイツの教会-	
昭和38	1948	農村史におけるフランス革命	
昭和38	1949	帝国主義	
昭和38	1950	「戦後日本経済発展分析」 その構造的特質について	
昭和38	1951	19世紀後半におけるロシアの資本主義の発展 -社会運動史的分析-	
昭和38	1952	現代日本資本主義論序 -国家独占資本主義の規定と成立-	
昭和38	1953	金融制度近代化への途 -イギリス市民革命期を中心として-	
昭和38	1954	ある反逆 <単純でないマルキュト尾崎秀実の生涯>	
昭和38	1955	イタリアに於ける産業資本の生成と発展に関する一考察	
昭和38	1956	寄生地主制小史	
昭和38	1957	「独占資本論」への接近 -「帝国主義論」の検討を中心とした基礎概念の吟味-	
昭和38	1958	公債負担論 J.M.ブキャナンの所説を中心にして	
昭和38	1959	ハーシュマン 経済発展の戦略をめぐって	
昭和38	1960	株式配当に関する若干の考察	
昭和38	1961	関係比率による管理分析の実際と利用	
昭和38	1962	低価主義に対する一私見	

小樽商科大学 卒業論文（昭和38年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和38	1963	予算統制の諸問題	
昭和38	1964	資本利益率分析	
昭和38	1965	邦訳 ウィルマー・ライト著『意思決定と統制のための直接標準原価』	
昭和38	1966	適用別営業費分析についての一考察 純利益法と貢献差益法を中心として	
昭和38	1967	会計士監査と監査役監査の制度的調整について	
昭和38	1968	原価差異分析とフォローアップ	
昭和38	1969	包括主義の一考察 ペイトン、リトルトンの所論を中心として	
昭和38	1970	在庫循環論	
昭和38	1971	経済成長の新古典派理論	
昭和38	1972	景気循環論に関するノート	
昭和38	1973	技術進歩を中心とした経済成長理論 J.ロビンソンについて	
昭和38	1974	現代のインフレーションについての考察	
昭和38	1975	生産性と技術進歩	
昭和38	1976	東南アジア諸国の経済発展 -資本形成と生産性について-	
昭和38	1977	景気変動と投資決定の問題	
昭和38	1978	国民所得決定理論とアメリカ経済におけるその実証的応用 Martin J. Bailey; "National Income and the Price Level"を中心として	
昭和38	1979	市場経済に於ける投資行為	
昭和38	1980	資本蓄積論の研究 -ロビンソンの『資本蓄積論』を中心として-	
昭和38	1981	労使協議の制度	
昭和38	1982	人事管理における一考察 -人事考課を中心として-	
昭和38	1983	経営的社会政策と共同体の理論	
昭和38	1984	経営における人間疎外の克服	
昭和38	1985	企業の成長過程に於ける一考察	
昭和38	1986	経営組織論の現代的展開 -管理と組織と人間と-	
昭和38	1987	ゼネラル・スタッフ序説 -その歴史的展開を中心として-	
昭和38	1988	事務の機械化と経営管理	
昭和38	1989	職能的思惟に基づく権限理論	
昭和38	1990	オートメーションと労使関係	
昭和38	1991	制度経済学への一考察	
昭和38	1992	企業支配論におけるいくつかの問題について	
昭和38	1993	事業部制実施上の問題点	
昭和38	1994	生産計画の経営管理における必要性	
昭和38	1995	バーナード組織論の一考察	
昭和38	1996	賃金問題の経営管理論的考察	
昭和38	1997	長期経営計画とその問題点	
昭和38	1998	プラグマティズムとアメリカ企業経営の発展	
昭和38	1999	戦後我国の労働力需要と賃金	
昭和38	2000	低開発国との貿易	
昭和38	2001	日本海運業の近代化とその具体例	
昭和38	2002	日本の貿易問題 -理論以前にあるもの-	
昭和38	2003	貿易の自由化とその問題点について	
昭和38	2004	関税一括引き下げ問題と我国の経済体制 Kennedy Round	
昭和38	2005	観光事業について	
昭和38	2006	金と国際流動性問題の一視角	
昭和38	2007	国際競争力の強化に関する独占の問題 -独禁法の運用と問題点-	
昭和38	2008	第2次大戦後のドルの問題	
昭和38	2009	輸出拡大の挑戦	
昭和38	2010	中小企業の海外市場開発とその貿易経営	
昭和38	2011	近代企業と経営者	
昭和38	2012	戦後の資本主義市場に於ける自由化と経済統合について	
昭和38	2013	日本経済と新産業体制論の問題点 -反独占政策からの検討-	
昭和38	2014	東南アジアの資本形成と外国投資	
昭和38	2015	ラテンアメリカにおける外国投資 -別冊"LA CAPITAL EXTRANJERO EN LA AMERIKALATINA"の要旨-	
昭和38	2016	北海道の輸出入産業と貿易自由化	

小樽商科大学 卒業論文 (昭和38年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和38	2017	パートナーシップ	
昭和38	2018	Economic Development and its Social Aspects, with Special Reference to Colombia and Indonesia	
昭和38	2019	貿易の自由化と日本貿易	
昭和38	2020	EECの発展動因としての関税	
昭和38	2021	貿易クレームに関する一考察 -主として、その防止策及び、仲裁制度について-	
昭和38	2022	東南アジア低開発諸国と日本の役割	
昭和38	2023	商業信用状本質論	
昭和38	2024	日本貿易の構造分析	
昭和38	2025	会計原則の構造	
昭和38	2026	会計評価における保守主義	
昭和38	2027	贈与益の会計学的性格	
昭和38	2028	資産評価の基本問題	
昭和38	2029	利益計画における目標利益率と利益図表による利益管理	
昭和38	2030	原価管理からコスト・マネジメントへ	
昭和38	2031	減価償却論 -企業の維持・成長を中心として-	
昭和38	2032	繰延資産について	
昭和38	2033	利益計画	
昭和38	2034	暖簾についての一考察	
昭和38	2035	需要分析	
昭和38	2036	リニアール・プログラミングの双対問題について	
昭和38	2037	Industrial Dynamics	
昭和38	2038	電子計算機の経営管理への導入	
昭和38	2039	在庫管理の方法	
昭和38	2040	予測と確率に関する哲学的背景	
昭和38	2041	在庫変動の景気変動に対するタイム・リード、ラグに関する一計測	
昭和38	2042	均衡論について	
昭和38	2043	代物弁済の予約	
昭和38	2044	会社合併の法律的構成と現状分析	
昭和38	2045	株式と社債の制度的接近化傾向 -我国に於ける現状と将来動向	
昭和38	2046	商号に関する一考察(商号権の保護を中心として)	
昭和38	2047	国際組織の権限に関する小論	
昭和38	2048	P.P広告とその効果	
昭和38	2049	商業デザインにおける形態と色彩	
昭和38	2050	再販売価格維持制度について -我国における実施の現状とその問題点-	
昭和38	2051	一般小売商経営 -流通革命に対処して-	
昭和38	2052	流通革新-販売革命-についての一考察	
昭和38	2053	販売促進に関する一考察	
昭和38	2054	観光旅館の合理的経営方法に対する思考 -特にマーケティング的考察による-	
昭和38	2055	現代資本主義とマーケティング -その現代的意義-	
昭和38	2056	販売管理の合理化と市場調査	
昭和38	2057	系列化より見たディーラーヘルプスの必要性並びにその具体的方法	
昭和38	2058	戦後我国の金融政策の一研究	
昭和38	2059	在庫管理のOR技法	
昭和38	2060	待ち合せ理論の解析的研究	
昭和38	2061	経済予想の為の関係式分析	
昭和38	2062	標本設計の方法	
昭和38	2063	実験計画法序説	
昭和38	2064	需要分析 -H.Wold を中心にして-	
昭和38	2065	ゲームの理論とその応用	
昭和38	2066	認定の問題	
昭和38	2067	モンテカルロ法とそのORへの応用	
昭和38	2068	職務給と労使関係	
昭和38	2069	生産性と労働問題について	
昭和38	2070	社会保障制度の日本的特質	

小樽商科大学 卒業論文（昭和38年度）

年度	番号	論 題 (Theme)	備考
昭和38	2071	我国に於る、年功序列賃金体系の生成及び発展に関する研究	
昭和38	2072	マックレガー著「Economic Thought and Policy」より 有効需要と雇用	
昭和38	2073	現代アメリカにおける独占と技術革新 -シュムペーターとガルブレイスの理論を中心として-	